生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	着床前診断モザイク胚移植後妊娠の周産期予後に関する後ろ向き観察研究		
1.研究の目的と方法	モザイク胚とは着床前診断で受精胚の一部の染色体の本数が多いもしくは少ないことが診断された胚です。この研究では、モザイク胚移植後妊娠の方の周産期予後について調べ、モザイク胚移植後妊娠の遺伝カウンセリングや妊娠中の管理方法を構築することを目的とします。 方法は当院においてモザイク胚移植後に妊娠成立し出産した方の(1)赤ちゃんを出産した確率、(2)出生前検査または分娩後の赤ちゃんの染色体検査の実施の有無と結果、(3)赤ちゃんの生まれつきの病気の有無を明らかにします。		
2.研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3.対象となる方等	2018 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までにモザイク胚移植によって妊娠成立し、当院で出産した方。		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	・母体基本情報：母体年齢・妊娠歴・着床前診断の適応・着床前診断の解析方法・モザイク胚の結果・既往歴・家族歴・内服薬・分娩方法・出生前検査の施行の有無と結果・胎児超音波断層法の診断結果 ・児基本情報：出生時妊娠週数・出生時体重・性別・アプガースコア・臍帯血ｐＨ・出生後の染色体検査の施行の有無と結果・赤ちゃんの生まれつきの病気の有無	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5.研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　産婦人科学講座
		氏名	伊藤　由紀
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学　産婦人科学講座　大久保　美紀	

	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2024 年 7 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　産婦人科学講座 研究責任者：助教　伊藤　由紀（いとう　ゆき） 電話番号：03-3433-1111（内線 3521） 対応時間：平日 9：00　～　16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。